望洋荘便り

第３５号
平成１８年
１０月発行

伝える力を養いましょう

社会福祉法人りんさく福祉会
理事長　須田　潤

仕事が完璧にできたと思っても、上司や先輩から見れば、まだまだ今一歩と思われていませんか。そんな時、相手の意見を素直に聞けるかどうかで、成長の度合いが変わってきます。また、その態度で人柄も評価されてしまいます。

自分が理解していないことは、相手には伝わりません。意味が分らないままプリントを読み上げたり話したりしても、相手にはほとんど伝わらないものです。作業でもおなじ事です。申し送りが不十分であれば、内容の理解が曖昧となり多くの方々に迷惑をかけるのです。

そこで伝える力を高めるためには、自分がいかに物事を知らないかを自覚することからスタートすることです。それにより物事を深く理解しようという気持ちが芽生えてきます。謙虚になることで新しい学びや気付きが得られるのです。

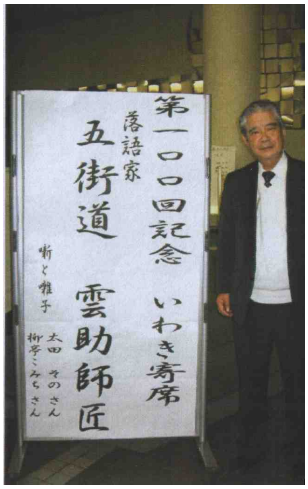
相手に伝えることで、自分自身も深く学ぶことができます。謙虚な気持ちをわすれず、日々を過してほしいものです。望洋荘では八十人の長期滞在者、十人の短期滞在者、そして五十人近い職員が交流しています。職員はそれぞれの職種のもとに連携しながら働いています。入居者様に快適な生活をしていただくためにも、お互いにしっかりした情報を確認して申し送りをしなければなりません。

知ったかぶりをしない、はやのみこみをしない謙虚な気持ちを持ち続けてください。

祝一〇〇回記念　いわき寄席

十月二四日（火）午後六時より「いわき市文化センター」で第一〇〇回記念いわき寄席を開催致しました。

「患者や家族に健康な笑いを提供したい」との須田理事長の思いから始めました。十八年間をかけて到達した記念の「いわき寄席」には、いわき寄席に縁の深い「五街道雲助師匠」のほか「噺と囃子」を共演した柳亭こみちさんと千葉しんさんの三人が出演しました。また来場者へ記念品としてこれまで出演した落語家さんの色紙のプレゼントがありました。



「いわき寄席」の歴史は、平成元年に行われた須田医院の開院一〇周年祝賀パーティーの余興に出演頂いた「五街道雲助師匠」との出会いがはじまりでした。

「笑いと健康」を考える須田理事長と「いわきでも噺家が勉強出来る場があれば協力したい」という雲助師匠の間でトントン拍子で話が進み、スケジュールの調整・会場探しなど苦労を重ねながらも、入場無料のいわき寄席を二ヶ月に一回のペースで開催して来ました。出演者は雲助師匠の尽力もあり、様々な落語家一門から延べ一一三人の落語家さんにお越しいただきました。落語を通して「教育、社会性など人間の生き方が学べる。子供から大人まで聞いてもらいたいですね。」と理事長の弁。

第１００回記念いわき寄席の高座で演じる
五街道雲助師匠

「第三回望洋荘祭り」

十月十五日（日）第三回「望洋荘秋祭り」を開催致しました。
多数の来荘者のもと盛大に楽しく行う事が出来ました。

海を背景に余興を楽しまれました。ちょっと寒いかナ?

今年からハッピを揃えてみなした。ｶｯｺｲｲでしょ

草野青年会様による「じゃんがら念仏踊り」をご披露頂きました。久しぶりに見るじゃんがらに、それぞれいろんな思いで見いっていたのでしうょね。

和太鼓の音は、迫力満点でした。腹の底までズシ～ンと響きました。

われら望洋荘職員による「よさこい」です。チームワークばっちりでした。

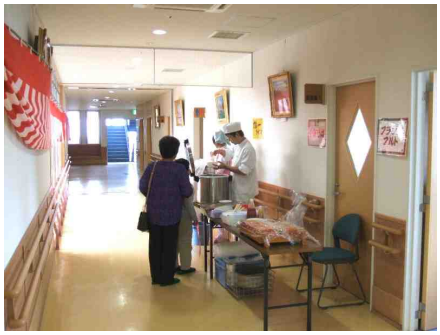
今年もご協力頂きました「江名フラサークル」の皆様です。ハワイアンの雰囲気に引き寄せられ、一緒に踊る入居者様もいらしゃいました。

毎月おいで頂いている「キャプテン船水」さんの優しい音色が良いですね。

昨年に引き続き「縁美　寛」さん塩ビパイプの魔術師です。

「いわき芸能倶楽部」のポートタウンフェイスさんがマジックショーをご披露。

正面入口付近は模擬店コーナーへと大変貌致しました。



廊下ではフランクフルト・豚汁・カレーライスを販売しました。

今年も大盛況だったバザーコーナー。生活用品など飛ぶ様な売れ行きでした。

「いわき寄席」出演者の色紙集から

「いわき寄席」出演者の直筆の色紙を紹介致します。

三遊亭　鳳楽師匠の作品です。

○第一六回　いわき寄席　平成四年四月二三日
（演目）**目ぐすり、鼠穴**

○第四四回　いわき寄席　平成八年一二月二五日
（演目）**尻餅、文七元結**

○第七四回　いわき寄席　平成一四年五月二二日
（演目）**猫の災難(小さん師匠を偲んで)、抜け雀(志ん朝師匠を偲んで)**

○第九四回　いわき寄席　平成一七年一〇月十二日
（演目）**味噌蔵**

三遊亭　鳳楽　師匠
（第 16 回いわき寄席 H4.4.22）
笑　売　繁　盛

三遊亭　鳳楽　師匠
（第 16 回いわき寄席 H4.4.22）
笑　門　福　来

柳亭　喬太郎師匠の作品です。

○第五四回　いわき寄席　平成十年十一月二四日
（演目）**熊の革、居酒屋、掛取り**

柳亭　喬太郎　師匠
（第 10 回いわき寄席 H10.11.24）
野　ざ　ら　し

柳亭　喬太郎　師匠
（第 10 回いわき寄席 H10.11.24）
小　言　幸　兵　衛

柳亭　喬太郎　師匠
（第 10 回いわき寄席 H10.11.24）
お　菊　の　皿

柳亭　喬太郎　師匠
（第 10 回いわき寄席 H10.11.24）
こんにゃく問答

柳亭　喬太郎　師匠
（第 10 回いわき寄席 H10.11.24）
時　そ　ば

柳亭　喬太郎　師匠
（第 10 回いわき寄席 H10.11.24）
猫　　久

「秋のお茶会」

十月二二日（日）ボランティアで伊藤さんと作山さんの二名が来荘され、各ユニットをまわってそれぞれの入居者様にお茶を点てて頂きました。入居者様に抹茶と和菓子で風情を感じて頂きたく企画致しました。本当に美味しそうに頂いていました。まあ結構なお手前で・・なんて感じでした。

伊藤様・作山様ありがとうございました。またのお越しをお待ちしております。

「大正琴」演奏会

十月三一日（火）午前十時三〇分より、「大正琴ちどり会コスモス教室」のみなさんにお越し頂き、塩屋崎ホールにて大正琴の演奏会を開催致しました。入居者様の中にも以前やった事があるという方もおり、懐かしがっておりました。やはり音楽は心の安定剤ですね。

「大正琴ちどり会コスモス教室」のみなさんありがとうございました。

インフルエンザワクチン接種のお願い

今年もまた「インフルエンザ」の季節になって来ました。当施設でも、手洗い・うがい・消毒等、また室内の温度や湿度の管理を行い、感染対策を実施しておりますが、インフルエンザの感染予防の基本はインフルエンザにかからない身体を作る事にあると思います。その為には、職員も含めて全員が「インフルエンザワクチン接種」する事が必須条件となります。高齢者のインフルエンザ感染は、命を落としかねない病気です。何卒ご理解の上ご協力をお願いします。

インフルエンザワクチン接種を行う事にあたり、六五歳以上の方は、いわき市にて助成があり個人負担は一二〇〇円となります。いわき市指定用紙（同意書）を送付致しますので必要事項を記入の上、返送頂きます様お願い申し上げます。

今月の言葉その　（倫理研究所編標語集から）

地球は生きている

万物を産み育て、今も超スピードで回転しつづけている地球よ。その止むことのない活動に抱かれて〝私〟という存在がある。まさに母なる大地よ、「ありがとう」である。

編集後記
『望　洋　荘』便り
平成十八年十月一日発行
発行所　いわき市
　平豊間字合磯三十九番地
　社会福祉法人　りんさく福祉会
　介護老人福祉施設　望洋荘
電　話　（０２４６）５５－７３７３
ＦＡＸ　（０２４６）５５－７２５５